酢酸ナトリウム、無水　CH_3COONa〔酢酸ナトリウム（無水）、特級〕

酢酸ナトリウム試液　酢酸ナトリウム13.6g（13.55～13.64g）に水を加えて溶かし、100mLとする（1mol/L）。

酢酸ナトリウム試液、0.2mol/L　酢酸ナトリウム27.2g（27.15～27.24g）に水を加えて溶かし、1,000mLとする。

酢酸ナトリウム試液、0.1mol/L　酢酸ナトリウム試液100mLに水を加えて1,000mLとする。

酢酸鉛　$Pb(CH_3COO)_2・3H_2O$〔特級〕

酢酸鉛試液　酢酸鉛9.5g（9.45～9.54g）に、新たに煮沸し冷却した水を加えて溶かし、100mLとする。密栓して保存する（0.25mol/L）。

酢酸4-ニトロフェニル　$CH_3COOC_6H_4NO_2$　白色～淡黄色の結晶性の粉末である。

融点　77～80℃

モル吸光係数　本品約200mgを1mgの桁まで量り、その数値を記録し、メタノールを加えて溶かし、100mLの全量フラスコに入れ、更にメタノールを標線まで加えて100mLとする。この溶液10mLを全量ピペットを用いて量り、100mLの全量フラスコに入れ、メタノールを標線まで加えて100mLとし、さらに、この溶液5mLを全量ピペットを用いて量り、100mLの全量フラスコに入れ、メタノールを標線まで加えて100mLとする。この溶液につき、メタノールを対照液として波長268nmにおける吸光度を測定するとき、本品のモル吸光係数は、9,200～9,600である。

酢酸n-ブチル　$CH_3COOCH_2CH_2CH_2CH_3$〔特級〕

酢酸、無水　無水酢酸の項に定める。

酢酸リチウム　$CH_3COOLi・2H_2O$　〔アミノ酸分析用〕

サフラニン　本品は、類黒色の粉末又は小塊で、水及びエタノールにやや溶けにくい。

溶状　本品0.1g（0.05～0.14g）を水100mLに溶かし、水浴上で加熱溶解するとき、溶液の色は、ほとんど澄明である。

吸光度　本品0.1gを0.001gの桁まで量り、その数値を記録し、水を加えて溶かし、100mLの全量フラスコに入れ、更に水を標線まで加えて100mLとし、試料原液とする。試料原液を水で正確に200倍希釈して試料溶液とする。波長517nmにおける吸光度を測定するとき、0.45～0.65の値を得る。

乾燥減量　5%以下（1g，105℃，4時間）

強熱残分　1.0%以下

三塩化アンチモン　$SbCl_3$〔特級〕

三塩化アンチモン試液　クロロホルムを等容量の水で2～3回洗い、新たに強熱して冷却した炭酸カリウムを加え、密栓し、遮光して一夜放置し、クロロホルム層を分取し、できる限り遮光して蒸留する。このクロロホルムで三塩化アンチモンの表面を洗い、洗液が澄明となったとき、クロロホルムを加えて飽和溶液とし、遮光した共栓瓶に入れる。用時調製する。

残留農薬試験用ベンゼン　ベンゼン、残留農薬試験用

酸化第二水銀、黄色　HgO〔酸化第二水銀（黄色）、特級〕　遮光して保存する。

酸化バリウム　BaO〔乾燥用〕

酸化マグネシウム　MgO〔特級〕

三酸化クロム　CrO_3〔三酸化クロム（無水クロム酸）、特級〕

三酸化ヒ素（標準試薬）〔容量分析用標準試薬〕

酸性塩化カリウム試液　塩化カリウム250g（249.5～250.4g）に水を加えて溶かし、1,000mLとした溶液に塩酸8.5mLを加える。

酸性塩化第一スズ試液　塩化第一スズ試液、酸性の項に定める。

次亜塩素酸ナトリウム試液　次亜塩素酸ナトリウム（NaClO：74.44）が5%含量となるように、1mol/L水酸化ナトリウム試液に氷冷しながら塩素を通じて調製する。用時調製する。

次亜塩素酸ナトリウム試液、アンモニウム試験用　水酸化ナトリウム又は炭酸ナトリウムの水溶液に塩素を吸収させた無色～淡緑黄色で、澄明の溶液である。

含量　次亜塩素酸ナトリウム（NaClO：74.44）として4.2g/dL以上

定量法　本品10mLを全量ピペットを用いて量り、100mLの全量フラスコに入れ、水を標線まで加えて100mLとする。この溶液10mLを全量ピペットを用いて共栓フラスコに入れ、水90mLを加えた後、ヨウ化カリウム2g（1.5～2.4g）及び酢酸（1→2）6mLを加え、密栓し、よく振り混ぜ、暗所に5分間放置する。遊離したヨウ素を、0.1mol/Lチオ硫酸ナトリウム溶液で滴定する（指示薬　デンプン試液3mL）。同様の方法で空試験を行い補正する。

0.1mol/Lチオ硫酸ナトリウム溶液1mL＝3.722mgNaClO

ジアゾベンゼンスルホン酸試液　105℃で3時間乾燥したスルファニル酸0.9g（0.85～0.94g）を量り、希塩酸10mLを加え、加熱して溶かし、水を加えて100mLとする。この溶液3.0mLを量り、亜硝酸ナトリウム試液25mLを加え、氷冷しながら5分間放置した後、亜硝酸ナトリウム試液5mL及び水を加えて100mLとし、氷水中で15分間放置する。用時調製する。

5-シアノアンミン鉄ナトリウム　ナトリウムペンタシアノアンミンフェロエートの項に定める。

次亜リン酸　H_3PO_2〔1級〕　$H_3PO_2$30～32%を含む。

シアン化カリウム　KCN〔特級〕

シアン化カリウム試液　シアン化カリウム1g（0.5～1.4g）に水を加えて溶かし、10mLとする。用時調製する。

シアン酢酸エチル　$NCCH_2COOC_2H_5$〔1級〕

ジエチルジチオカルバミン酸銀　$C_5H_{10}AgNS_2$〔日局〕

四塩化炭素　CCl_4〔特級〕

ジオキサン　$C_4H_8O_2$〔特級〕

2，7-ジオキシナフタリン　$C_{10}H_6(OH)_2$（2，7-ジヒドロキシナフタリン）　白色針状の結晶又は結晶性の粉末で、エタノール又はエーテルに溶けやすく、水に溶けにくい。

融点　190℃

2，7-ジオキシナフタリン試液　2，7-ジオキシナフタリン0.025g（0.0245～0.0254g）をメタノール1,000mLに溶かし、この溶液90mLにフェリシアン化カリウム溶液（1→500）5mL及びシアン化カリウム溶液（1→100）5mLを加え、混和した後、30分間放置し、水酸化ナトリウム溶液（2.25→200）15mLにメタノールを加えて200mLとした溶液100mLを加える。用時ろ過し、75分以内に使用する。

ジギトニン　$C_{55}H_{90}O_{29}$　白色の結晶性の粉末で、水に溶けにくい。温エタノール又は氷酢酸に溶ける。クロロホルム又はエーテルに溶けない。

溶状　本品0.5g（0.45～0.54g）に温エタノール20mLを加えて溶かすとき、溶液は、無色で、澄明である。

融点　約230℃（分解）

比旋光度　$[\alpha]_D^{20}$＝－47～－49°（1g，75%酢酸，10mL，100mm）

乾燥減量　6%以下（105℃）

強熱残分　0.3%以下

β-シクロデキストリン　$(C_6H_{10}O_5)_7$　白色の結晶性の粉末である。

乾燥減量　12.0%以下（1g，105℃，3時間）

強熱残分　8.2%以下（1g）

β-シクロデキストリン緩衝液　β-シクロデキストリン5.5g（5.45～5.54g）に一般試験法の抗生物質の力価試験法に規定する3号緩衝液を加えて溶かし、1,000mLとする。

シクロヘキサノン　$C_6H_{10}O$〔特級〕

シクロヘキサン　C_6H_{12}〔特級〕